

置戸高等学校で外国人技能実習生異文化交流







置戸高生 ミャンマー文化学ぶ 北見で働く技能実習生と交流



ミャンマーから来た技能実習生エイ・エイ・ネインさん(中央)との交流会

【置戸】置戸高で7日、介護職を目指す3年生9人と、北見市の介護福祉施設で働くミャンマー人の技能実習生エイ・エイ・ネインさん(20)との交流会が行われた。

エイ・エイ・ネインさんは今年2月に来日し、現在、北見市の介護老人保健施設「いきいき」で働いている。交流会でエイ・エイ・ネインさんは職場の仕事を説明したり、写真などでミャン

マーの食事や文化などを紹介。一方、置戸高生は校内を案内し、その後は一緒に新聞紙でかぶとや折り紙で折り鶴を作ったり、かるたなどを楽しんだ。

3年の村岡風斗さんは「普段交流の機会がないので良い経験になった」、エイ・エイ・ネインさんは「とても楽しかった。学校の設備や介護実習室が立派で驚いた」と話していた。

(先川ひとみ)